

百科事典少女 文学の学び 対比と象徴

学習のねらい

- ① 登場人物のそれぞれのものの見方や考え方を捉える。
- ② 場面の展開や表現の仕方に着目する。

確認

文章の流れをつかもう

「百科事典少女」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめました。①～⑤に当てはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

自宅の一階倉庫部分に父が手を加え、

① をつくった。

- ・アーケードのお店のレシートを見せれば、誰でも利用できる。
- ・Rちゃんは唯一、レシートなしで出入りできるお客さんだった。

「私」は、「うそのお話」(物語)を好んだ。

Rちゃんは②を求めている。

↓ 最も愛したのは百科事典

Rちゃんは百科事典を読み終えることなく、病気で死んでしまう。

← ③ くらいだった頃

「紳士おじさん」(Rちゃんの④)が読書休憩室を訪れるようになる。

← ⑤ 百科事典を ⑤ に書き写していった。

・果てしない作業だったが、私たちは見守った。

百科事典を写し終えた紳士おじさんは、二度とアーケードに姿を見せなかった。

- ア 大学ノート
- イ 本当のお話
- ウ お父さん
- エ 読書休憩室
- オ 半年

確認

主題をつかもう

次のあらすじを読んで、作品の主題としてふさわしいものをあとから選び、記号で答えなさい。

百科事典が好きな少女「Rちゃん」は、まるでこの世界の全てを知りたいと思っているかのように夢中で百科事典を読み続ける。読書好きの「私」は彼女の声を聞きながら百科事典の中の世界に想像を膨らませていくが、「Rちゃん」は厄介な内臓の病気にかかり死んでしまう。その後、彼女の父が亡き娘の人生の続きをいっしょに生きるかのように、百科事典をただひたすら大学ノートに書き写していく。「私」はその姿に「Rちゃん」の姿を重ね、彼女の父が何年もかけそこに書き写していく様子を見守る。

- ア 「Rちゃん」が亡くなっても、その思いは受け継がれて達成される。
- イ 少女の知的な世界に魅了された「私」が好奇心をかき立てられている。
- ウ 寡黙な父親が、その娘と昔交わした約束をようやく果たす。

参考資料

【作者紹介】

小川洋子：一九六二(昭和37)年、岡山県出身。小説家。多数の小説、エッセイがあり、フランスなど海外での評価も高い。作品に「博士の愛した数式」「ミーナの行進」「薬指の標本」などがある。

漢字の読み書き

次の——線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

- | | | |
|------------------------------|---------------------------|--------------------------------|
| □ (1) 外国の紳士 | □ (2) 休憩をする | □ (3) 机と椅子 |
| □ (4) 唯一の欠点 | □ (5) 大胆な発想 | □ (6) 病院の廊下 |
| □ (7) お菓子を <u>買う</u> | □ (8) 服装に <u>頓着</u> しない | □ (9) <u>鍵</u> をかける |
| □ (10) ビニールの袋 | □ (11) 廃材を利用する | □ (12) のどが <u>渴</u> く |
| □ (13) <u>了解</u> する | □ (14) <u>月賦</u> で買う | □ (15) <u>車</u> を <u>購</u> 入する |
| □ (16) <u>フ</u> ンイキのよい店 | □ (17) 体型を <u>イ</u> ジする | |
| □ (18) <u>ジ</u> ュウジツした生活 | □ (19) 自宅 <u>ケ</u> ン事務所 | |
| □ (20) <u>ヒ</u> マをつぶす | □ (21) <u>ホ</u> ンダナを買う | |
| □ (22) <u>キ</u> ョウリュウウの骨 | □ (23) 代金を <u>ハ</u> ラう | |
| □ (24) 暑さに <u>タ</u> える | □ (25) 洋服を <u>又</u> う | |
| □ (26) <u>ゴ</u> ウカな居間 | □ (27) 部屋を <u>セ</u> ンキヨする | |
| □ (28) 山高 <u>ボ</u> ウシをかぶる | □ (29) <u>アイ</u> マイな返答 | |
| □ (30) <u>コ</u> ウタクのあるサテンの布地 | | |

重要な語句

次の言葉を使った例文を書きなさい。

④	③	②	①
途切れる	浸る	いたわる	たいてい
例文	例文	例文	例文
意味	意味	意味	意味

問題 次の各文の空欄に当てはまる言葉を、「重要な語句」の中から選び、書きなさい。ただし、空欄に当てはまるように言葉を変化させても構いません。

- (1) 幼少期の思い出に□。
- (2) 雨が□ことなく降り続く。
- (3) 姉は、□の場所は一人で行く。
- (4) 共に戦ってきた仲間を□った。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(小川洋子「百科事典少女」より)

(注) 月賦…ひと月ごとの分割払い。

ロマネスク様式…十一〜十二世紀頃の西欧の建築・美術様式。

読解のコツ

◎登場人物のそれぞれのもの見方や考え方を捉える

「Rちゃん」と「私」の様子に着目しましょう。

↓学習のねらい①

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

・私:「うそのお話」⇨架空の世界に興味がある。

・Rちゃん:「うそのお話」は読破⇨「本当のお話」⇨現実の世界に興味がある。

読書休憩室で親しく口をきくようになった「私たち」の好きな本の違いから、二人の考え方の違いが読み取れます。

□(5) —線⑤「いったい何がおもしろいのか」に表れている「私」の気持ちとして、最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 百科事典が好きなのは分かるが、魅力は理解できない。

イ 百科事典ではなく、普通の物語を読むべきだ。

ウ うそのお話をばかにしているのが許せない。

エ うそのお話を楽しさを知らないのが気の毒だ。

□(6) Rちゃんの百科事典の読み方は、「私」にはどのように見えていますか。

文章中の言葉を使って二つ答えなさい。

□(7) Rちゃんの人物像を表す言葉として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 陽気 イ 早熟 ウ 臆病 エ 短気

□(8) Rちゃんが百科事典を心からおもしろいと感じていることが分かる言葉を文章中から探し、書き抜きなさい。

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

□(1) — 線①「早く、全部読み終わりたいなあ」とありますが、このように
思う理由をRちゃんの言葉から二十五字で探し、初めの五字を書き抜きな
さい。

□(2) — 線②「すごいと思わない?」とありますが、どのようなところがすこ
いのですか。次の文の「」に当てはまる言葉を文章中から十三字で探
し、書き抜きなさい。

・「し」は「」 「いるから。」

□(3) — 線③「十分の一の役目」とありますが、具体的にどういうことですか。
最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 全部で十文字のうちの一文字。
イ 全十ページのうちの十ページ。
ウ 百科事典全十巻のうちの一巻。
エ 十人のお客さんのうちの一人。

□(4) — 線④「じっとおとなしくしていた」に表れている、「私」のRちゃん
に対する思いとして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 尊敬 イ 敬遠 ウ 反発 エ 不信

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) アツピア街道：「Rちゃん」が読み上げた百科事典の内容の一つ。
 ひまわりの椅子：「Rちゃん」が生前いつも座って百科事典を読んでいた、背もた
 れの部分にひまわりの柄が描かれた子供用の椅子。

(小川洋子「百科事典少女」より)

35

30

読解のコツ

◎場面の展開や表現の仕方に着目する

Rちゃん亡き後の読書休憩室の様子を捉えましょう。

↓学習のねらい②

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

「誰ひとり百科事典を開こうとしなかった」とあります。百科事典はR
 ちゃんがなくなった後、どうなったかを読み取りましょう。

□(5) —線⑤「決して手を触れなかった」とありますが、なぜですか。「私」
 の考えが表れている一文を探し、初めの五字を書き抜きなさい。

□(6) Rちゃんの死に対する「私」の受け止め方について、次の文の「a」・
 「b」に当てはまる言葉を文章中から探し、aは三字、bは二字で書き
 抜きなさい。

・椅子に「a」が残っているので、Rちゃんがなくなったことがまだ
 信じられないが、椅子に「b」が感じられないことから、Rちゃんの
 死は現実の出来事だと思い知った。

a

b

□(7) 「私」の視点から百科事典を人にたとえている表現を探し、十字以内で書き
 抜きなさい。

□(8) Rちゃんの発言には、百科事典の言葉に対するどのような思いが込められ
 ていますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 同情 イ 愛情 ウ 軽蔑 エ 嫌悪

--

まとめテスト

百科事典少女／文学の学び 対比と象徴

教科書

P. 84 ～ P. 101

得点

100点

60

1 次の文の空欄に当てはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

2点×8 16点

□(1) 「百科事典少女」とは①のことで、世界の全てを知りたいと思うかのように夢中で②を読み続けていたが、③の病気で死んでしまう。その後、父親である「紳士おじさん」が娘の人生の続きを生きるかのように、②を黙々と大学ノートに書き写していく。□④「はその姿に「Rちゃん」の姿を重ね、何年もかけて書き写していく様子を見守っている。

ア 私 イ Rちゃん ウ 内臓 エ 百科事典

□(2) 「Rちゃん」と「紳士おじさん」の共通点は、少女のアプリケが縫い付けられた①を持って読書休憩室へ来ることと、②の模様の椅子に座ることである。相違点は、「Rちゃん」がアーケードのお店の③を保持せずに読書休憩室に入りにするの、「紳士おじさん」はアーケードのお店で毎回小さな買い物をして、その③を持って訪れることである。また、「Rちゃん」は百科事典を声に出して読むことがあったが、「紳士おじさん」は何も言わず、④に書き写した。

ア レシート イ 手提げ袋 ウ 大学ノート エ ひまわり

2 次の——線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

2点×12 24点

- (1) 部屋の隅 □(2) 愛犬のお尻 □(3) 道が舗装される
- (4) 重大な項目 □(5) 最後まで頑張る □(6) 世界の偉人たち
- (7) 火星を探索する
- (8) 病院のロウカ □(9) 作業のジャマになる
- (10) ヒフのかゆみ □(11) 液体のチツソ
- (12) 布団とマクラ
- 3 次のア～カの各文のうち、——線の語句の使い方が正しいものを全て選び、記号で答えなさい。
- 完答 10点
- ア ピアノを延々と引き続ける。
- イ 誰のことも気にしない頓着な性格だ。
- ウ 親しい友達と過ごす時間はいつも堅苦しい。
- エ セーターの袖口がほつれる。
- オ 多くの人が彼の考えに同意した。
- カ 言い争いで談笑した。

□

□

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(小川洋子「百科事典少女」より)

30

25

20

15

10

5

□(1)——線①「手提げ袋もいっしょだった」とありますが、これは、どのようなことを表していますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

10点

ア 紳士おじさんが手提げ袋を持つことに、「私」が違和感を抱いていること。
 イ 手提げ袋を見て、「私」がRちゃんのことを思い出していること。
 ウ 「私」がRちゃんの手提げ袋を譲ってほしいと思っていること。
 エ 紳士おじさんも愛用するほど、手提げ袋は便利なものであること。

□(2)——線②「Rちゃんのやり方と同じだった」とありますが、Rちゃんのやり方と違うところが分かる部分を文章中から一文で探し、初めの五字を書き抜きなさい。

15点

□(3)——線③「声に出さずに飲み込んだ」とありますが、なぜですか。「Rちゃんのことを」に続くように答えなさい。

15点

□(4)——線④「さあ、どうしてだろうねえ」とありますが、紳士おじさんの行動に対する父の考えを、文章中から十五字で探し、初めの五字を書き抜きなさい。

10点